

# 学校関係者評価結果

(令和3年2月10日 10:30～)

- 肯定的な回答が他と比べて低い「児童のアンケート結果」について
  - ・ 「授業中に発表している」「先生に質問や相談をしている」「進んであいさつをしている」の児童の自発的な行動を問うている設問で上記の傾向が見られる。大人が模範を示すなど、家庭の協力も必要である。
  - ・ 児童によっては1歩踏み出す勇気がもてない引っ込み思案な子がいて、CやDとの回答も、ある一定数出てくるのだと思われる。
- あいさつについて
  - ・ あいさつについて、児童の認識と、保護者の認識、教員の認識に乖離がある。あいさつをしていても相手に伝わっていない状況を認識することも必要だ。
  - ・ あいさつも含めて「できるようになる」ためには、大人も子どもも体験が必要だ。体験して学ぶことが大切である。現在は大人が先回りして手厚く助けることで、経験が抜け落ちているようにも感じる。家庭での経験が一番であるが、できていないのであれば学校でも補っていく必要もある。
- その他
  - ・ 現在、コロナ禍で、動画やタブレットPCを使用した学習もせざる得ない状況であるが、できれば様々な実体験をさせてやりたい。ICT活用も大事だが、実体験、本物の体験にはかなわない。